令和２年度 小国町教育努力目標

小国町教育委員会

人間尊重の精神を基底に置き、「熊本の学び」の推進により未来の作り手となる児童生徒一人一人に必要な資質･能力をはぐくむ教育活動を校長指導のもと全職員の創意工夫により展開する。

また、五者（学校、子供、家庭、地域、行政）がそれぞれの役割を果たし、互いに連携を図りながら教育環境及び地域力の向上に努め､小国町の発展とともに子どもたちが健やかに成長できるよう､併せて町民一人ひとりが豊かに過ごせるよう学習活動を支援していく。

１　「小国型教育（小中一貫教育）の推進」

小中一貫教育の実施により、９年間を一貫した系統的、継続的なきめ細やかな学習指導や生徒指導を展開し、豊かな人間性や社会性を育成するとともに、確かな学力の向上、小国を愛し、小国に誇りを持つ『おぐに』の子の育成を図る。そのために、小国町教育研究会の活性化を図り「チーム小国の教育」の一層の推進充実を図り、(1)「英会話科」(2)「小国学」（総合的な学習の時間）(3)「基礎・基本の定着」（確かな学力の向上）を中核に据えた小国型教育（小中一貫教育）を推進する。

２　「豊かな心の育成」

すべての教育活動を通して、自然を大切にする心、相手への思いやりや感謝の気持ちなど心の醸成を図る。そのために、歴史遺産資料「おぐに」の活用や道徳科の時間の充実を図るとともに、小国学（総合的な学習の時間）をはじめ、あらゆる体験活動を重視した系統性、計画性のある指導の充実に努め、自分なりの問いを立て、探り、新たな問いへとつながる「探究的な学び」を深める授業改善の推進を図る。

３　「体力向上の推進」

健康で安全な生活のできる資質や能力を備えた児童生徒を育成するとともに、生涯にわたり活力ある生活を営むことができるよう、環境の整備を図り、日常的・継続的に健康の増進、体力の向上に努める。また、「小国ゆうあい倶楽部」等との連携・協働により、日常的にスポーツに親しむ習慣を形成する。

４　「人権教育の推進」

「小国町人権教育・啓発基本計画」に基づき、すべての教育活動における指導方法等の工夫・改善を図り、豊かな人権感覚を身に付けた児童生徒の育成に努める。また、学校（いじめ・不登校等）や地域における人権問題を明らかにするとともに、教育の果たす役割の重要性を深く自覚し、実践的指導力の向上を目指す。

５　「生涯学習の推進」

町民一人ひとりの個性が尊重され、生涯にわたって学ぶことができる「生涯学習社会」の実現に向け、学習情報の提供や社会教育施設の充実及び利用促進を図り、町民の学習活動を推進する。あわせて、学校図書室、小国町図書室の活用を通して児童生徒の読書習慣の形成を図るとともに、幼児期からの読み聞かせを推進するなど、町民の読書活動への関心を高める。

６　「信頼される学校」

教職員の資質や専門性の向上を図るとともに、ボトムアップによる学校改革及び不祥事根絶に向けた取り組みを通した風通しの良い職場づくりに努めることで、「チーム小国」の一員としての意識を高める。

町が推進する SDG s 構想を学校の教育活動の中で展開させる。また、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進するとともに学校評価等の充実を図り、地域と学校の連携・協働体制構築を推進する。